

# 事業報告

## 1. 月別活動の経緯

- 10月 運行開始式（生瀬皇太神社）・・・9月27日  
運行初日から宝塚駅前まで終日啓発活動  
生瀬小学校全校集会で説明  
生瀬幼稚園園児とふれあい、保護者説明会  
秋祭りだんじりの曳航にかかるコース調整  
九州運輸局シンポジウム参加（生瀬の取り組み発表）
- 11月 会報発行5号  
理事会（新組織と会計の承認）  
トライやるウィークの受け入れ（伊丹中学生）  
市民文化祭で替え歌披露  
他市市議会議員団視察（意見交換）
- 12月 京都山科 醍醐コミュニティバス見学  
奈良宇陀市行政職員研修会に参加  
京都向日市 交通会議に参加  
関係機関からの訪問（意見交換）  
神戸新聞に掲載
- 1月 事務所開設  
新年初運行を祝して記念撮影（しめ飾り）  
道路凍結等に係るコース周回・・・3日間  
会報6号発行
- 2月 理事会（事務所開き、周年事業の了承）  
大阪FM出演（生瀬の取り組み紹介）  
関係機関からの訪問（意見交換）
- 3月 生瀬幼小中の卒業式出席  
会報7号発行  
神戸新聞に掲載
- 4月 関係機関からの訪問（意見交換）  
市のパートナー事業への応募（趣旨説明会）  
幼少中の入学式出席  
10000人突破 記念品送呈  
新運行計画の停留所等の新設に係る点検と関係機関調整

## 2. 日常的な活動

- ①常任理事会を原則として月一回
- ②会報編集委員会を原則として月に一回
- ③11月より月初めに宝塚駅前でもらう配布（午前中）  
\*スタッフとしての意欲を堅持する
- ④1月から毎週月曜日に事務所で情報交換、公園の清掃
- ⑤腕章をつけて随時バスに添乗
- ⑥宝塚バス停で随時運転手と交流

## 3. 運行の総括

○運行期間 平成27年10月1日～平成28年4月28日（7ヶ月間）

○運行日数 143日間（土日祝日、正月3が日を除く）・・・完全運行

○利用者数 11,361人（大人11,270人、小人91人）

○利用者率 1日平均79.4人 1便当たり4.0人  
（※目標（1年目）：1日平均70人以上）

### ○利用状況

#### ①月別（一日平均利用数）

	30	40	50	60	70	80	90	100	(人台)
10月：1,715人/21日(81.7人/日)				3	8	5	4	1	} 単位：日
11月：1,524人/19日(80.2人/日)			1		11	2	4	1	
12月：1,702人/22日(77.4人/日)	1		2	2	6	7	4		
1月：1,536人/19日(80.8人/日)			1	4	5	6	1	2	
2月：1,528人/20日(76.4人/日)				4	10	3	3		
3月：1,801人/22日(81.9人/日)				5	4	7	6		
4月：1,555人/20日(77.8人/日)			1	5	5	5	3	1	
合計：1,1361人/143日(79.4人/日)	1		5	23	49	35	25	5	

#### ②コース・便別（構成率）

	1便	2便	3便	4便	5便	計
A 生瀬高台	412 (14%)	540 (17%)	629 (21%)	847 (28%)	609 (20%)	3,037
B 宝生ヶ丘	505 (15%)	644 (20%)	882 (27%)	638 (20%)	598 (18%)	3,267
C サーパス青葉台	667 (24%)	471 (17%)	673 (24%)	477 (17%)	468 (16%)	2,756
D サーパス花の峯	591 (26%)	423 (18%)	436 (19%)	346 (15%)	505 (22%)	2,301
計	2,175 (19%)	2,078 (18%)	2,620 (23%)	2,308 (20%)	2,180 (20%)	11,361

### ③曜日別（一日平均利用数）

	30	40	50	60	70	80	90	100 (人台)	
月：2005 人/26 日 (77.1 人/日)				5	13	4	4		} 単位：日
火：2350 人/29 日 (81.0 人/日)			1	4	9	9	5	1	
水：2267 人/29 日 (78.2 人/日)			1	1	14	11	2		
木：2092 人/30 日 (69.7 人/日)	1		3	12	10	3	1		
金：2647 人/29 日 (91.3 人/日)				1	3	8	13	4	
合計：11,361 人/143 日 (79.4 人/日)	1		5	23	49	35	25	5	

## 4. 成果

○天候に恵まれ、運行事業者の企業努力もあり、無事故で予定日数を完全運行できた。

○利用数は当初の目標を大きく上回り、平均的に好調を維持している。

- ・期間限定の試験運行から継続的な本格運行に移行したため、住民が安心してバス中心の生活に切り替えたためと考えられる。
- ・交通用具保持者、学生から若い主婦など、客層に広がりも見られる。
- ・バス友、転居の判断材料など、新たな利用拡大にもつながっている。

○朝刊 5 大紙に掲載され、神戸新聞は特集を組んで追跡取材したいと言っている。

○月初めのキャンペーンや添乗サービスで利用者との交流が図れたほか、運営に携わるスタッフの意欲堅持、意識向上の機会になっている。

○事務所が確保でき、週に 1 回集まることで情報交換が密になった。

○会報が定期的に発行され、内容も充実してきている。

○10 人乗りジャンボタクシーから、14 人乗りバスに車両変更してから積み残しがなくなり、住民の不安も解消できた。

○広告収入が比較的安定して取れるようになってきた。

○定期的な寄付金の申し出があるなど、事業に対する支援が芽生えてきている。

## 5. 課題

○月ごとの利用者数が平均的で上昇の兆しが無い。

- ・①の表の利用状況を比較しても各月に大差はなく、外出に関係するといわれる寒暖による影響は少ないと考えられる。12 月は年末の 3 日間を除けば、7 カ月で 1 番利用率が高い。4 月が伸び悩んでいるのが問題である。
- ・②の表から高台、宝生が丘の 1 便利用率は必ずしも高くなく、早い便のニーズが高いというわけではなさそうである。むしろ、両地区とも最終便の遅い時間帯を望む声が高い。
- ・③の表から他の曜日に比べて木曜日の利用が極端に少ない。

○停留所の位置、数に対する利用者の不満の声が高い。先進地域の停留所の間隔は短いほどサービス向上につながる観点で設置されており、参考にすべき点は多い。

○道路凍結、渋滞、事故などによる運休遅延時の緊急対応が十分でない。

○緊急電話の諸々

- ・ 停留所で待っていて、手を挙げたのに通過された。
- ・ 夕食のおかずを車内に忘れた。
- ・ 20分待っても来ない、今日は休みか。
- ・ 時刻表の表示がわかりにくい。(・・・を上る、下る)
- ・ 障害者手帳を持っている人は介添え者を無料にするべきだ。
- ・ バスの運転が乱暴だ。
- ・ 何度かけても出ないのはなぜだ。
- ・ 途中で切るとは何事だ。
- ・ 時刻表が欲しい、会員でないから直接もらいたい。
- ・ 運行日、料金などの問い合わせ、要望の電話は今でもある。

## 6. 今後の方策

○上半期の運行を総括して

- ・ ニーズの高いルート of 模索、4コースを一回りする最終便の増発の是非を検討する。
- ・ 有効期限付きの回数券の販売、ファミリー切符など期間限定のお得な特別回数券、ICカードなどの利用者にとっても収受の煩雑さも軽減できる利用方法を検討していく。
- ・ 停留所等の新設、見直しを行う。
  - \* JR宝塚駅前、米倉クリニック前、生瀬大橋バス停上下、森興橋前（花の峯下り）、北摂中央病院前、生瀬バス停上下、サーパス3号館前、サーパス登り口、高台公園前（宝生が丘との連絡道路横）
  - \* バス待ちする客の安全確保のために、段差解消のための対策を検討。
- ・ 花の峯における緊急避難であった迂回路を実験時の外周コースに戻す。

○2年目の目標である一日平均85人をめざして

- ・ 地域懇談会、新聞テレビ等への取材申込み、学校園の訪問、広報紙の充実、HPの活用などを精力的に行う。
- ・ 1周年事業をして、ゆるキャラ、ぐるっと生瀬音頭を製作して、大々的にPRし、興味関心を高める。

○更なる発展を目指して

- ・ 日常的な住民の声に適切に対応できる体制の確立を図る。
- ・ 効果的な緊急体制の確立を図る。